

MOIROKU Lab の開催報告

第1回 MOIROKU Lab を開催しました！

ロープウェイ入口電停周辺地区のまちづくりで実際に行われている取組等を検証し、住みよいまちについて考える場として、12月1日に第1回 MOIROKU Lab (モイロクラボ) を開催しました。

第1回は、景観まちづくりの取組である「もいわ山麓ゆきあかり」について、人材・体制をはじめとする現状と内容を整理し、今後につながるアイデアを考えました。また、その他にも地区の魅力アップにつながりそうな景観まちづくりの取組について、意見交換を行いました。

以下に MOIROKU Lab で挙げられたご意見の一部をご紹介します。



1 もいわ山麓ゆきあかりの現状と改善策

人材・体制

現状

町内会が中心で行っているため、マンパワー不足...



改善策

地域みんなで協力して取り組んでいくために、
どんな風に関わることができるのかきちんと伝えたい！

アイデア

- 企画・準備・アイスクャンドルを作る作業・片付けに必要な作業を整理して、わかりやすく伝える。
- チラシなどでの広報だけでは何を手伝えば良いのか伝わらない。多くの方が集まる町内会行事でお手伝いを声掛けしてみる。
- 学校や子どもたち、子育て世代の方なども、できる範囲で無理なく楽しく参加できるものとする。
- 事業所や飲食店などと連携してPRできると面白い。

もちつき大会を
広報をすることも
できる！



内容

アイデア

- アイスクャンドルは凍らせる手間が大変なので、一部スノーキャンドルで代用し、見に来た人もついたり、参加できるようにすると盛り上がるかも！
- 電車通りの方がお店や人通りが多いので、設置を増やしても良い。
- ローソクを各戸へ配り、作り方を教えることで気軽につくれるようにしては？



2 その他の景観まちづくりの取組について

普段の地域の取組・景観づくりも大事！

- ・暮らしを支える地域の取組が、魅力的な景観につながっていくと思う。
- ・ごみステーションの清掃・管理、美化活動に力を入れていきたい。



観光客のおもてなし

- ・シャトルバス乗り場周辺を花でおもてなしをしたい。
- ・観光客へのマナー啓発も必要。



新しいアイデアにチャレンジしていく

- ・地域の素敵な景観を映した写真をInstagramなどで紹介したい。
- ・地域のことを紹介するマップを活用してはどうか。
- ・まち歩きにつながるスマホゲームと連携させたり、地域のことを紹介する町内会のマンガを作って、SNSで発信したい。
- ・面白いアイデアにチャレンジして、若い世代も楽しく参加できるようにしていきたい！



3 意見交換の様子

たくさんの方が参加してくれました。



お茶を飲みながら和気あいあいと話し合い。



参加者の中にはお子さんの姿も。



MDIROKU Lab、
来年もどうぞ期待！
今後の活動に
ご注目ください！！

ご参加くださったみなさま、ありがとうございました！！



みんなで取り組む景観まちづくり **もいわ山麓 ゆきあかり**
令和2年 2月8日(土)~9日(日) 17:00~20:00



④ 設置したアイスキャンドル。伏見支援学校の生徒たちがローソクを作ってくれます。
③ 外気温(-2℃位)で、2日~1週間出来上がり。完成したキャンドルは雪の中に入れておくことで保存可能です。
② ポリバケツの内側が2cm程度凍ったら、タンブラーとバケツの残りの水を取り出す。
① ポリバケツ(約5リットル)とタンブラーに水を入れ凍らせる。

レッツチャレンジ！
アイスキャンドルづくり
○用意するもの／ポリバケツ約5リットル1個／タンブラーか大型のコップ1個

主催：山鼻第12町内会、山鼻第18町内会、(株)札幌振興公社、北海道札幌伏見支援学校 合同
支援：札幌市 まちづくり政策局 都市計画部 地域計画課

問い合わせ先：
札幌市 まちづくり政策局 都市計画部 地域計画課 担当：菅原、桑原
TEL 011-211-2545 FAX 011-218-5113
URL <http://www.city.sapporo.jp/keikaku/keikan/index.html>



さっぽろ市
02-B03-19-2270
31-2-1487